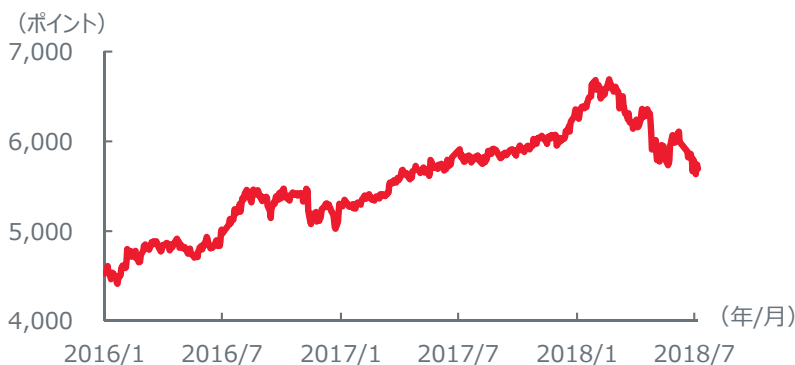


(対象期間：2018/7/2～7/6)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移
 (2016年1月4日～2018年7月6日)

【株式市場】

週前半は米中貿易摩擦への懸念が継続したことから、インドネシア株式市場は下落しました。その後は買戻しの動きが見られましたが、国内で目立った材料に欠ける中で、週後半はほぼ横ばいとなり週間では下落しました。セクター別ではインフラ・公益・運輸などが上昇した一方で、基礎産業・化学、金融、農業などは下落しました。

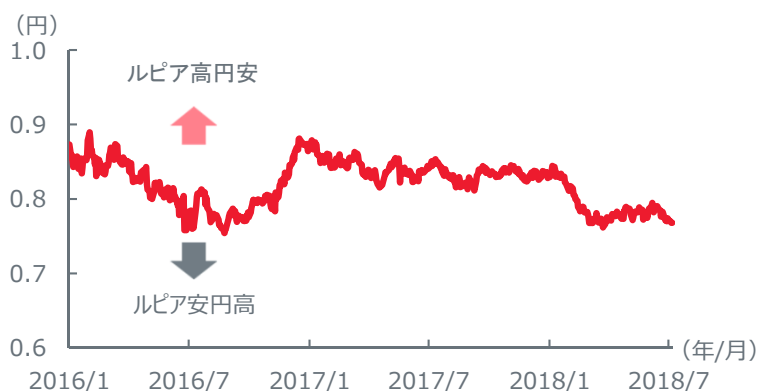
| 2018/6/29 | 2018/7/6 | 変化率 |
|-----------|----------|--------|
| 5,799.24 | 5,694.91 | -1.80% |

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
 (2016年1月1日～2018年7月6日)

【債券市場】

インドネシア債券市場は、週前半は米中貿易摩擦への懸念を背景に弱含みで推移しました。週半ばに入ると足元の下落の反動から買戻しが見られ、週後半に入っても米国の長期金利が低下基調で推移する中で堅調な推移が続き、週間では10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。

| 2018/6/29 | 2018/7/6 | 変化幅 |
|-----------|----------|--------|
| 7.797 | 7.629 | -0.168 |

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移
 (2016年1月1日～2018年7月6日)

【為替市場】

ルピアは対米ドル、対円で下落しました。週前半は米中貿易摩擦への懸念から下落しました。週半ばには買戻しの動きも見られましたが、週後半は再び弱含み、週間では下落しました。インドネシアの財務相はルピア安圧力緩和のため、資本財輸入の見直しなど経常赤字の抑制策を検討していると述べました。

| 2018/6/29 | 2018/7/6 | 変化率 |
|-----------|----------|--------|
| 0.774 | 0.768 | -0.80% |

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づき開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国プルデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているプルデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。